

グループ 3 の検討の進捗について

グループ 3 の進捗状況について下記の通り報告いたします。

1. Group3 打合せ実績と内容

第五回 打合せ 平成 28 年 6 月 22 日(水) 10:00-12:00

ロードマップ作成方針と役割分担打合せ

ロードマップ作成方針

<ul style="list-style-type: none"> ・中期での成果は、他の課題に反映するようにリンクを明確にする。
<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な項目とのリンクを明確にするために番号付けをする。
<ul style="list-style-type: none"> ・「具体的な項目」の部分に「炉心評価技術の高度化」などの大枠のくくりを記載しグループ毎にわかりやすく並べ替える。
<ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーは、「実施者」と理解し、下記の実施主体者を明記する。 規制者 : 規制庁、JAEA 炉心・熱水力設計評価技術の高度化に対応した適切な技術評価と規制を行う。 産業界 : 電気事業者、メーカー 事業主体として炉心・熱水力設計評価技術の高度化を図る。技術高度化に伴って必要となる民間規格を検討する。 学協会 : 学会が標準、規格の制定を主体とする。 高度化に必要な基盤技術の充実に努める。 技術高度化に伴って必要となる民間規格を検討する。 大学 : 要素技術の維持発展 高度化に必要な基盤技術の充実に努める。 研究機関: JAEA、電中研、その他 高度化に必要な基盤技術の充実に努める。 技術高度化に伴って必要となる民間規格を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ロードマップに上記の実施者を記載。

2. 第3グループからの提言

- ・実施機関/資金担当の記載で、グループ1から4までで用語の統一が必要。用語について確認する必要がある。
- ・実施機関/資金担当の記載で、エネルギー庁に説明しやすくするため具体的な例示を追加してはどうか。

炉型によらない共通基盤技術で多額の費用を要する技術開発、および安全性向上を重視した我が国の原子力技術の国際競争力の維持・向上に寄与する技術開発については、資源エネルギー庁や文科省など国による支援が重要である。例えば次の技術開発が相当する。

(2) 数値シミュレーション技術の高度化を通じた最適評価手法の開発

(4) 核データ測定及び評価技術の継承と高度化及び核データの整備

(5) 国産標準コードシステムの開発、国産断面積処理コードの整備

(6) 核設計コードの標準（検証用）ベンチマーク問題の整備

(8) 高度化燃料・高度化手法導入に向けた熱水力試験実施、評価コードの開発、及び炉心解析技術、熱水力設計評価技術を支える3次元ボイド率実証データ取得

以上